

6 流行性角結膜炎

「はやり目」と呼ばれる目の感染症

1 病原体名

アデノウイルス

2 年齢層

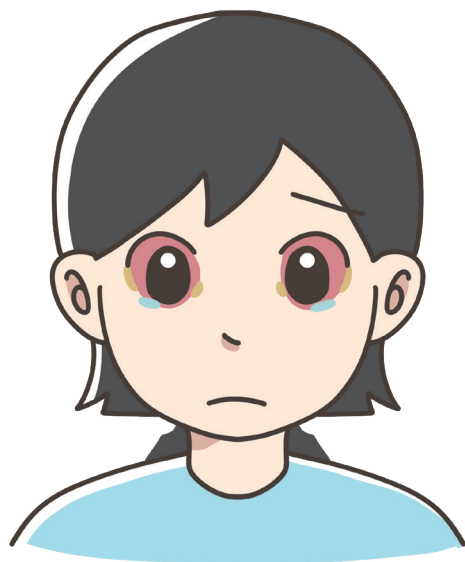
全年齢

3 潜伏期間

5～14日間

4 症状とケア

- ☑ 結膜炎の症状（眼の充血、痛み、むくみ、涙がたくさんこぼれるなど）が急に現れます。まず片方の目に出て、4～5日後にもう一方の目にも症状が出ます。
- ☑ 耳の前にあるリンパ節のはれや触れたときの痛みを伴うことがあります。
- ☑ 小さな子ども（新生児、乳幼児）は、強い炎症で眼の角膜に穴があいてしまうことがあります。
- ☑ 感染力が強く、症状が落ち着くまで（概ね2週間以内）はできるだけ人との接触を避けます。周囲に感染



する危険がなくなつたと医師が判断するまで、学校へは出席停止です。

5 診断と治療

- ✓ 流行状況や症状、抗原検査などで診断します。
- ✓ アデノウイルスに効く治療法はありませんが、症状に応じて、炎症や細菌感染に対する点眼薬で治療します。

6 家庭に持ち込まないために

- ✓ 感染力が非常に強いです。感染経路は接触感染で、眼をこすった手や、目を拭いたハンカチから感染することもあります。
- ✓ アルコール消毒が効きにくく、石けんによる手洗いやせきエチケットが大切です。



7 家庭で拡げないために

- ✓ 症状が出ても、手で目や口を触れないようにし、触れたときはすぐに石けんで手洗いをします。
- ✓ 目薬やタオル、枕など涙や目やにで汚れそうなものは、家族で共用しないようにします。
- ✓ 目やにや涙は、ティッシュでふき、使用済ティッシュは個別にビニール袋に入れて捨てます。
- ✓ 感染者は、家族内で最後に入浴します。